



愛称は「銀河なめとこライン」 主要地方道花巻大曲線が暫定開通

花巻市から沢内村に通じる主要地方道花巻大曲線の花巻～沢内間の開通式典が8月5日、花巻市豊沢の花巻野外活動センター西側の現地で行われた。式典には増田知事など関係者約300人が出席、近くにあり、宮沢賢治の童話に登場する「なめとこ山」と沢内をイメージさせる路線の愛称「銀河なめとこライン」が紹介された。同線は花巻市と秋田県大曲市を結ぶ幹線道路の一部で、今回の開通で、花巻市と西和賀地区の相互交流が促進されるものと期待されている。



四道県知事が意見を交換 北海道・北東北知事サミット開催

第6回北海道・北東北知事サミットが8月23日、秋田県小坂町の小坂鉱山事務所で開催された。今回のサミットのテーマは「21世紀型の健康」。岩手医科大学歯学部ひざしの田中久敏教授らをゲストに迎え、健康を育む地域づくりについて意見交換を行った。この中で、北海道と北東北の恵まれた自然や豊かな食材を生かして、真の生活の豊かさを追求していくことを確認。また、共同の産業廃棄物税の導入など、産業廃棄物対策を北東北三県が連携して進めることでも合意がなされた。



市町村合併をともに考える 全国リレーシンポジウム開催

「みんなで考えよう この地域の将来を」をテーマに、政府市町村合併支援本部や県などが主催する「市町村合併をともに考える全国リレーシンポジウム2002 in 岩手」が8月26日、約650人の参加のもと一関市で開かれた。パネルディスカッションに出席した増田知事は「今後市町村が担う課題は多い。これらの問題を解決する人材をそろえるには、市町村にはある程度の規模が必要。盛岡市を超えるような都市を県南にも誕生させることが望ましい」と述べた。



みんなですすめる交通安全 交通安全母の会全国キャラバン隊が来県

「交通安全は家庭から」を合言葉に、悲惨な交通事故を防止し、交通事故のない快適な交通社会の実現を目指す、全国交通安全母の会連合会の全国キャラバン隊が8月26日に来県し、28日まで県内各地で内閣官房長官からのメッセージ伝達や交通安全教室、街頭での呼びかけなどを行った。27日には県庁前で、県交通安全母の会連合会の鶴浦てつ子会長が交通安全意識の高揚などを求める内閣官房長官のメッセージを読み上げて増田知事に伝達し、翌28日には秋田県へと引き継いだ。